

「求める教員像」および「教員組織の編制方針」

慶應義塾は、その建学の精神および気風において、様々な資質を持った塾生が、塾員や教職員と共に、互いに影響し合い、人間形成をしていく場である。それを可能にするために「求める教員像」および「教員組織の編制方針」を次のとおり定める。

(1) 求める教員像

- ・ 建学の精神ならびに各学部・研究科における教育研究上の目的および3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を理解し、それらの実現に向けて取り組むことのできる者。
- ・ 各教育課程における教育を担当するにふさわしい能力を有し、自らの資質の向上に継続的に努め、次世代の育成に責任を持って当たることのできる者。
- ・ 専攻分野における研究上の能力又は高度な実務の能力を有し、本学が定める研究倫理要綱を遵守する者。
- ・ 本学の構成員として、自らの役割を正しく認識し、他の教職員と協働しながら、大学運営に意欲的に取り組むことのできる者。

(2) 教員組織の編制方針

- ・ 大学および各学部・研究科における教育研究上の目的を実現するために、教育課程および学生の収容定員に応じて必要な数の教員を配置する。
- ・ 教育研究活動を持続的に実施するために特定の年齢層に偏ることのないよう考慮するとともに、教育研究の活性化を図るため性別・国籍などの多様性に配慮する。
- ・ 教員の募集・採用・昇任は、本学の関係諸規程等に基づき、公正・公平に行う。
- ・ 組織的かつ多面的なファカルティ・ディベロップメント（FD）を行い、教員の資質向上を図る。
- ・ 教員が担当する授業科目、授業時間の適切な把握・管理を行う。

以上